

A3805 ED18-2 リニア・鉄道館保存機



予価：¥12,980 (本体価格 ¥11,800)

対象年齢14歳以上

商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

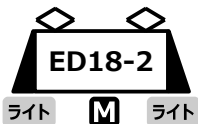
単品プラケース入 (カートン入数：24)

実車紹介

日本の鉄道の電化は明治時代後半から市内電車を中心に徐々に進行しており、1922年から東海道本線の電化に際して4種類の電気機関車を各国より輸入、当時の電車区間だった中央線、山手線、京浜線で比較試験後の1923年に導入されたのが17台の1040形と9台の6000形です。両者の外見上の差は殆ど無く、性能と仕様が若干異なる程度でした。1928年の称号改正に伴いED50～ED52と改称された後、1930年から順次中央東線用に歯数比を山岳路線向けに変更してED17、ED18(初代)となりました。舶来品ゆえの部品供給や故障にも悩まされましたが、戦後の装備改装に伴う電気部品の国産化の後には信頼性も向上し、製造所のイングリッシュ・エレクトリック社デッカー工場に因み「デッカー」と呼ばれて親しまれました。装備改装によって1台を除いてED18はED17に統合されましたが、飯田線転用に際して軸重制限の厳しい北部で運用するグループには動力台車中央に走軸を増設、あらたにED18(2代目)を名乗りました。

ED18-2号機は1979年まで活躍後、国鉄民営化後の1992年に動態復活してイベント等で人気を博しましたが、2005年に引退して現在は「リニア・鉄道館」で静態保存されています。

編成図



M 動力車 ライト ヘッドライト 点灯

商品概要

- マイクロエース電気機関車シリーズのさらなる充実
- 多くのご要望にお応えし、英国電気、デッカー工場生まれの名機が再登場！
- ED18型2号機の特徴である側面のベンチレーターが3段のボディ
- 飯田線で活躍した人気者がリニア・鉄道館に収蔵された後の姿
- 車体色はぶどう色2号、屋上は黒色

関連商品：A1476/トラ90000 トロッコ列車名古屋車両区 3両セット



Photo: bettan25 / PIXTA(ピクスタ)

JR東海承認済

付属品

なし

オプション

室内灯 非対応

カプラー

非対応



株式会社 マイクロエース

TEL：048-444-2944

FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
写真の複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです